

1 成分加熱硬化型接着性液状シリコンゴム TSE3281-G

TSE3281-Gは、熱伝導性に優れた灰色流動性の1成分加熱硬化型接着性液状シリコンゴムです。短時間の加熱でゴム状に硬化し、種々の基材に接着します。

特 長

短時間の加熱により硬化・接着します。

熱伝導性に優れています。

金属、プラスチック、セラミックス、ガラスなどによく接着します。

用 途

ハイブリッドICの放熱接着

熱器具の接着シール

特性例

硬化前

(JIS K 6249)

項 目	特性値
外観	灰色流動性
粘度 (23) Pa·s{P}	60{600}

硬化後 (硬化条件：150 、1h)

(JIS K 6249)

項 目	特性値
外観	灰色ゴム状
密度 (23) g/cm ³	2.70
硬さ (タイプA)	84
引張強さ MPa{kgf/cm ² }	4.5{46}
切断時伸び %	50
引張せん断接着強さ ^{*1} MPa{kgf/cm ² }	2.5{25}
線膨張係数 ^{*2} 1/K	1.4 × 10 ⁻⁴
熱伝導率 ^{*2} W/(m·K){cal/(cm·s·)}	1.68{4.0 × 10 ⁻³ }
体積抵抗率 ·cm	4.8 × 10 ¹⁴
絶縁破壊の強さ kV/mm	15
比誘電率 (60Hz)	5.2
誘電正接 (60Hz)	0.002

*1 被着体：アルミ

*2 社内試験法による

使用方法

被着体/ワークに塗布または注入し、乾燥機などで加熱硬化してください。

硬化性

温度	硬化時間 h
100	4
125	2
150	1

注) 被着体の熱容量、乾燥機の性能等で硬化時間は異なりますので、あらかじめ予備試験を行ってください。

接着性

接着する被着体	接着しない被着体
アルミ、銅、黄銅、ステンレス、ニッケルメッキ、PPS、PBT、エポキシ樹脂、ポリアエステル、ガラス、セラミックス、熱加硫型シリコンゴム	フッ素樹脂、PE、PP、ポリアセタール

使用上の注意

被着体の表面は、その材質に適した溶剤などで油分や汚れを清掃し十分乾燥させてください。水、イオウ、窒素化合物、有機金属塩、リン化合物などを含む表面では、硬化しないことがありますので部品の一部で予備試験を行ってください。有機ゴム、ハンダフラックス、アミン硬化エポキシ樹脂、ワックス類、縮合型シリコンゴムには特に注意してください。100 以下の加熱では十分な接着力がでないため、100 以上で加熱してください。

取扱い上の注意

取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。局所排気装置を運転し、換気をよくしてご使用ください。

保管

室温保管では徐々に粘度が上昇しますので、冷蔵庫保管(0~10)してください。なお、低温から室温に戻す際結露しますので、室温に戻してから開栓してください。子供の手の届かない所に保管してください。

荷姿・梱包

1kg金属缶(1ケース10P入り)

25kgペール缶

消防法

指定可燃物 可燃性液体類に該当

発行：2000年10月/改訂 2006年2月、TSE3281-G J

・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。 ・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。

・安全性に関する詳細な情報につきましては、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。 ・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。



モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社

<http://www.momentive.jp>

テクニカルアンサーセンター
東京本社(営業)
大阪支店
名古屋支店
九州営業所

TEL.0276-20-6182、0120-975-400 FAX.0276-31-6259
TEL.03-5544-3111(代) FAX.03-5544-3122
TEL.06-6251-6272(代) FAX.06-252-8255
TEL.052-962-5731(代) FAX.052-962-5750
TEL.092-291-2056(代) FAX.092-262-1411